



いわせほっとニュース

<http://iwase-hp.jp>

発行日 2015年1月30日

[公立岩瀬病院の基本理念]

患者さん中心の医療を実践し、地域の皆さんに信頼される病院をめざします。



当院屋上からの日の出

目次

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| ◆ 新年のごあいさつ……………2 | ◆ 手洗い・咳エチケットでインフルエンザ予防…5 |
| ◆ がん医療の現在③……………3 | ◆ ユニフォーム紹介……………5 |
| ◆ 健康ミニ講座を開催しています……………3 | ◆ 病院用語ナビ |
| ◆ シリーズ チーム医療④……………3 | 『PSA（前立腺特異抗原）』……………6 |
| ◆ 高額医療制度について……………4 | ◆ クラゲの水槽が新しくなりました……………6 |
| ◆ 院内職場紹介「訪問介護ステーション」4 | ◆ 健康レシピ……………6 |
| ◆ 連携医療機関紹介……………5 | |

新年のごあいさつ



企業長 伊東 幸雄

輝かしい希望に満ちた新年の年頭に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

当院は昨年8月にこれまで整備を進めて参りました、入院病棟、外来診療棟、駐車場を含む屋外環境と全ての施設整備が完了し、新しい年を迎えることができました。工事期間中は、多くの皆様にご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。

明治5年の創業以来、地域の皆様に愛され親しまれ支えていただきながら、幾多の困難をも乗り越えて今日があるものと感謝申し上げます。

本年も地域の皆様に信頼される病院をめざして、地域医療の核となるよう役割を果たして参りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。



院長 三浦 純一

明けましておめでとうございます。

穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。本年も地域の皆様が健やかに過ごしていただけるよう医療と保健、介護の各分野が手を携えて、健康長寿のまちづくりを目指して協力して参ります。

当院は震災後「日本で一番長寿のまちをつくり、災害に強い病院をめざす。」このことをスローガンに運営して参りました。

健康はご自身の生活の中でご自身が育てていくものです。地域の皆様の身近にあって健康を一緒に考え、健康長寿の実現に向けてお役に立てるよう職員一同邁進して参ります。



副院長兼看護部長 安達 恵美子

新年あけましておめでとうございます。

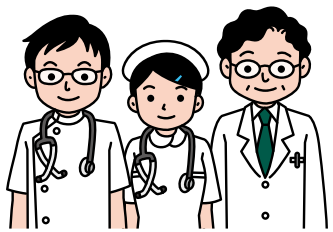
旧年中は、皆様に格別なご高配を受け賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

医療・看護を取り巻く社会環境は、2025年に団塊の世代が75歳を迎え、急速な少子化・高齢化が進んでおります。今後、何らかの病気を抱えながら暮らす高齢者を在宅医療を踏まえて、入院中はもちろん退院後も含めた一貫した支援が求められています。病院として、入院前から患者さんが安心して医療を受けられるよう、また、入院から退院後の生活を見据えた治療環境を提供できるように、各医療機関と連携を持ち、より一層の努力を積んで参りたいと思います。

昨年の8月30日に公立岩瀬病院がグランドオープンし、新外来棟が建ってから早2年目を迎えました。私たち職員一同、これまで以上に気持ちを引き締めて、地域の皆様の健康に携わり、お力になれるよう精進して参りたいと思っております。

本年もより一層のご支援を賜りますよう、職員一同心よりお願ひ申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。今年も宜しくお願ひ申し上げます。

がん医療の現在 ③ ～がん検診について～



がん化学療法看護認定看護師 長 澤 由 紀

「がん医療の現在」の連載も3回目となり、今回で最後となります。最後はがん治療についてお話ししたいと思います。

がんの告知を受けた方に示される治療方法は、基本的に「手術療法」「化学療法(薬物療法)」「放射線療法」の3種類があり、これを三大療法と呼んでいます。日本では、これまで手術ががん治療の中心にありましたが、近年は化学療法や放射線療法が進歩し、がんの種類や病期によっては手術と変わらない効果が認められているがんもあります。

さまざまな検査を行いながら、「どの治療方法がその人のがんにもっとも効果を期待できるか」を医師は探っていきます。検査結果に加え、その人の年齢や性別・環境や患者さんの希望なども考慮して総合的に判断し、治療方法が提案されます。場合によっては、2つ以上の治療を組み合わせる集学的治療を行うこともあります。

当院でも、外科を中心に手術療法・化学療法を行い、放射線療法が必要な方に関しては、他施設に紹介し治療を行っています。私も手術療法や抗がん剤治療を行う患者さんを中心に看護を提供しています。

ここ10年で抗がん剤治療は大きく変わり、分子標的治療薬といい、悪いがん細胞だけを標的にする遺伝子レベルでの治療ができるようになり、制吐剤で吐き気は抑えられるようになりました。

がん治療も個別化してきており、当院でも金曜日に副院長による「がんよろず相談外来」を完全予約制で実施しております。公立岩瀬病院には、私達がん分野の認定看護師も4名在籍しておりますので、治療方法で悩み、困っていることがあればぜひご相談ください。

健康ミニ講座を開催しています

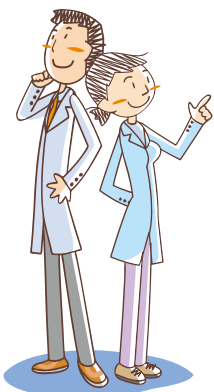


公立岩瀬病院では毎月1回、健康や医療に関する知識をお伝えする健康ミニ講座を健診センターで開催しています。30分程度の時間で、地域の皆さんや通院中の患者さんに気軽にご参加頂ける内容です。

健康ミニ講座では当院の職員が各職種の専門性を活かし、分かりやすくお話をさせて頂いています。講座が終わってからの質問や相談などもお受けしています。事前の申し込みは不要で、自由にご参加いただけますのでお気軽にご参加ください。開催日程は外来の掲示板、当院ホームページ等でお知らせしています。



シリーズ チーム医療 ④ 「自分の科から見るチーム医療について」



放射線科 車 田 清 春

いつも当院をご利用頂きありがとうございます。

当院の放射線科は診療放射線技師8名、看護師8名で業務を行っています。特長は放射線検査と内視鏡検査の部門が一つになっているため内視鏡を使用した放射線特殊検査(ERCP・透視下EGD・透視下CSなど)にも円滑に対応できる点が挙げられます。

また、平成25年12月からは新CT(東芝320列Aquilion ONE)を導入し、新たに冠動脈CT・大腸CTを開始しました。平成26年12月現在で冠動脈CTは138件、大腸CTは300件の検査をおこなっております。これも日頃から皆様に当院を利用して頂いているおかげと大変感謝しております。今後も地域の皆様と連携を深め、患者様に満足して頂ける医療の提供に努めていきたいと思っております。

平成27年1月から70歳未満の高額療養費制度が変わります

高額療養費の自己負担限度額について、平成27年1月診療分から70歳未満の所得区分が**3区分から5区分に細分化**されます。

70歳未満の方が入院や外来で診療を受ける場合に、限度額適用認定証の交付を受け、保険証と併せて医療機関窓口へ提示すると、入院時等の1か月（1日から月末まで）の窓口でのお支払いが自己負担限度額までとなり、一時的な費用負担が軽くなります。医療費が高額になりそうなときは限度額適用認定証をご利用ください。

また、制度の改正に伴い、限度額適用認定証（限度額適用・標準負担額減額認定証）の区分の表記が変わります。平成27年1月1日以降は、以前の区分表記の限度額適用認定証等は使用できませんのでご注意ください。

詳しくは、保険者（市町村またはお勤め先）までお問い合わせください。

社保加入の方の改正イメージ

<平成26年12月31日まで>

「限度額適用認定証」「限度額適用・標準負担額減額認定証」の所得区分
① 区分 A (標準報酬月額53万円以上の方)
② 区分 B (区分 A および区分 C 以外の方)
③ 区分 C (低所得者) (被保険者が市区町村民税の非課税者等)



<平成27年1月1日から>

「限度額適用認定証」「限度額適用・標準負担額減額認定証」の所得区分
① 区分 ア (標準報酬月額83万円以上の方)
② 区分 イ (標準報酬月額53万～79万円の方)
③ 区分 ウ (標準報酬月額28万～50万円の方)
④ 区分 エ (標準報酬月額26万円以下の方)
⑤ 区分 オ (低所得者) (被保険者が市区町村民税の非課税者等)

部署紹介

《訪問看護ステーション》

私たち訪問看護ステーションは、看護師5人でいつも明るく笑顔で仕事をしています。訪問看護の対象者は、年齢に制限なく、小児科から高齢者と幅広く対応し、他職種の方々と協力連携を図り、在宅療養生活が安心して維持できるようにお手伝いをしています。主に活動内容は、医療依存度が高い方や疼痛緩和が必要な方、褥瘡がある方などのお宅に訪問して処置や看護を提供しています。重症でない方も利用することができます。また、認知症や療養上の介護についての相談を受け指導も行っています。

困ったときにはいつでも対応し、利用者家族の方々にも安心して療養生活できるように支援しているため、在宅看取り件数も増えています。

私たちはその人らしさを一番大切にし、今後も活動していきます。



《連絡先》0248-75-5026

連携医療機関紹介

関根医院 関根健司 先生

公立岩瀬病院にはいつも大変お世話になっております。岩瀬病院で育てていただいた理念を基本にしながら、かかりつけ医として地域に根差した医療を行っていきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願い致します。

【診療科】 内科

【専門】 消化器病、肝臓病

【医療機器】 上部消化管内視鏡検査、心電図検査
腹部超音波検査、レントゲン検査

【往診・訪問診療】 依頼に応じて行っております。



関根先生(中央)と
スタッフの皆さん

関根先生の略歴

《昭和62年》

3月 新潟大学医学部卒業

4月 福島県立医科大学、第二内科入局

《平成5年》

4月 公立岩瀬病院消化器内科赴任

《平成18年》

12月 関根医院開院



手洗い・咳エチケットでインフルエンザ予防

インフルエンザは冬季に爆発的に感染が拡大し、日本では毎年1千万人、約10人に1人が感染していると言われています。

インフルエンザの感染は、感染した人が咳をすることで飛沫に含まれるウイルスを別の人が口や鼻から吸い込んでしまう飛沫感染と、感染した人の飛沫や鼻水がドアノブなどに付着し、それを別の人が手で触れ、さらにその手で鼻、口に触れることで粘膜を通じて感染する接触感染があります。インフルエンザを予防するためには、この2つの感染経路を断ち切る事が重要です。具体的な方法として、手洗いをこまめに行い、咳や鼻汁が出る時は必ずマスクを着用するといった咳エチケットを実施していきます。

これらの対策を行い、インフルエンザ流行シーズンを乗り切りましょう!!

ユニフォームが新しくなりました

昨年5月より全職員のユニフォームが変わり、職種ごとに異なるデザインになりました。今回は、栄養管理科と薬局のユニフォームを紹介したいと思います。

栄養管理科のユニフォームの上着の色は白で襟付き、ズボンの色は水色。薬局の上着の色は紺または白、ズボンの色は白です。襟周りが広がったことで着やすくなり、また動きやすくなりました。通気性も向上しました。



薬 局



栄 養 管 理 科

～「PSA(前立腺特異抗原)」とは?～



PSAは前立腺に特異的にみられる腫瘍マーカーです。採血のみの検査で、血液中のある特異的なタンパク質の一種「PSA」の値を測定し、高ければ前立腺癌の疑いが強くなります。前立腺肥大症でも高値になることがあり、鑑別が必要になります。

前立腺肥大症は尿道に近い前立腺の「内腺」に発生するため、初期の頃から排尿障害が起きます。前立腺癌は尿道から遠い「外腺」から発生するので、初期の段階では排尿障害などの自覚症状は少ないといわれています。

前立腺癌は、2010年現在で男性のうち第4番目に多い癌で、最も増加している癌として注目されています。ぜひ、60歳以上の方はPSAの採血検査を検診・開業医・当院泌尿器科等で受けてください。

クラゲの水槽が新しくなりました



外来ロビー正面入り口付近に設置されている、アクアマリンふくしまさんのクラゲ水槽が新しくなりました。

当初設置頂いていた水槽は正面の一面だけがガラスでしたが、新しい水槽では三面がガラスになりました。このことで、正面に加え左右からも観察が出来るようになり、水槽の中が明るく、より綺麗にクラゲが見えるようになりました。また、水槽の高さも低くなり、お子さんにも見やすい水槽となっています。

当院に来院される際には、是非ご覧ください。



健康レシピ



体を温めて 風邪予防「かぶの酒粕入りポターージュ」

3個分 エネルギー/399kcal 蛋白質/14g 脂質/21g
炭水化物/33g 塩分/1.5g

《材 料》(約2~3人分)

・かぶ(皮をむいたもの)	200g	・酒粕	30g
・玉ねぎ	100g	・水	大さじ1
・水	150g	・味噌	小さじ3
・豆乳	100g	・すりおろし生姜	小さじ1
・オリーブオイル	小さじ1	・かぶの葉	適量
・顆粒昆布だし	2g		

作り方

- ① かぶ、玉ねぎは繊維に直角に薄切りにする。
- ② 鍋にオリーブオイルを入れて玉ねぎを焦がさないように炒める。
- ③ 玉ねぎがしんなりしてきたらかぶを入れてさっと炒め、水、顆粒昆布だしを入れて弱～中火くらいでコトコト煮ていく。
- ④ 酒粕と大さじ1の水を合わせレンジで加熱し柔らかくする。
- ⑤ かぶ、玉ねぎが柔らかくなったら4を入れる。
粗熱をとってからミキサーやブレンダーなどで滑らかにする。
- ⑥ ⑤を鍋に戻し豆乳を入れ温める。温まったら火を止め味噌とすりおろし生姜を溶かし入れる。
- ⑦ 最後にかぶの葉を加熱し、刻んだものを盛りつける。

旬のかぶは七草粥の具でもあり、胃に優しく体を温める食材と言われています。酒粕と生姜を入れることで風味と温める作用をプラスしました。ポターージュに牡蠣やエビ、鶏肉などを加えるとタンパク質が、パスタなどを加えるとの炭水化物が補うことができます。

編集・発行 公立岩瀬病院 広報委員会(広報誌発行部会)

〒962-8503 福島県須賀川市北町20番地

Tel 0248-75-3111 Fax 0248-73-2417 E-mail koho@iwase-hp.jp